

氏名	貴志文俊
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第3745号
学位授与の日付	平成14年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	原発性胆汁性肝硬変肝組織におけるFas発現の免疫組織化学的検討
論文審査委員	教授 岡田茂 教授 赤木忠厚 教授 榎野博史

学位論文内容の要旨

我々は既にアポトーシス誘導蛋白の一つである Fas が脂肪肝を含む肝疾患においても肝細胞に発現していることを明らかにした。今回、原発性胆汁性肝硬変症 (PBC) における Fas 発現について免疫組織化学的に検討した。PBC 患者 10 例ならびに対象として慢性肝炎患者 14 例より腹腔鏡下肝生検にて得られた肝組織を PLP 液にて固定後、凍結切片を作製し、抗 Fas マウスモノクローナル抗体を 1 次抗体とし、HRPO 標識家兔抗マウス免疫グロブリンを二次抗体とした酵素抗体間接法により染色した。Fas は、PBC 全症例の細胆管あるいは小葉間胆管の胆管上皮細胞に発現が認められ、ウイルス性慢性肝炎例と比較して発現の増強が認められた。免疫電子顕微鏡的観察では、Fas は胆管上皮細胞の basal 及び lateral の細胞膜に発現が認められ、また細胞質内小胞体にも Fas の発現が認められた。これらの所見より、胆管での Fas 発現の増強が PBC の病態に関連がある可能性が示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、原発性胆汁性肝硬変症 (PBC) 10 例における Fas 発現について免疫組織化学的に検討したものである。慢性肝炎患者 14 例を対照とした。免疫組織化学の結果より胆管での Fas 発現の増強が PBC 病態に関連がある可能性が示唆された。本研究は原発性胆汁性肝硬変の重要な知見をもつものである。よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。